



スコット チャーニー (Scott Charney)
マイクロソフト コーポレーション 副社長
Trustworthy Computing 最高責任者

スコット チャーニーは、マイクロソフト コーポレーションの副社長 兼 Trustworthy Computing 最高責任者として、安全で信頼性の高いコンピュータ環境の実現に向けた全社的な取り組みを統率しています。

マイクロソフト入社前は、Price Waterhouse Coopers で、同社の提供する企業向けサービスである、サイバー犯罪の防止および対応の手法 (Cybercrime Prevention and Response Practice) の開発を統率していました。Price Waterhouse Coopers への入社以前は、米国司法省の犯罪検察部門において、コンピュータ犯罪と知的財産権の担当課長を務めていました。1991 年から 1999 年にかけては、連邦検察官として米国で発生した主なハッカー事件のほとんど全ての解決に貢献しました。彼は、コンピュータ犯罪者の捜査と逮捕に関する最初の連邦指針、連邦コンピュータ不正行為防止法、連邦コンピュータ犯罪判決指針、およびコンピュータの適切な使用法と職場環境の監視に関する犯罪検察部門のポリシー等の策定作業にも参加しています。また、G8 (主要 8 カ国) 会議の下位組織であるハイテク犯罪担当グループの議長、OECD (経済協力開発機構) における暗号に関する世界ポリシー策定のための臨時専門部会の米国代表および副議長、ならびに世界規模の情報基盤上でのセキュリティ、個人情報保護および知的財産権を検討するための OECD 専門部会の米国代表メンバーでもありました。

マーシャル賞 (1995 年度)

米国司法長官からの特別貢献賞 (1998 年)

情報セキュリティシステム協会の殿堂にノミネート (2000 年)

軍事通信電子機器協会より表彰 (2000 年)

米国弁護士協会における電子査察に関する特別委員会の委員

米国医療弁護士協会におけるセキュリティと電子署名法に関する特別委員会の委員

カーネギーメロン大学のソフトウェア工学研究所の諮問委員

クリントン政権における情報基盤に関する特別委員会のプライバシー作業部会の委員

米国ニューヨーク州のシラキュース大学 名誉法学博士

ニューヨーク州立ビンガムトン大学 歴史学・英語学学士号